

平成 25 年度「とちぎ農業・農村フォトコンテスト」の審査講評

本年度で3回目を迎えました「とちぎ農業・農村フォトコンテスト」について、十勝の魅力为全国に発信し、グリーンツーリズムの展開、農畜産物などの十勝ブランドイメージの向上、道東自動車道開通を契機とした交流人口の増加など、管内の農業と関連産業の振興に資することを目的に、「見せたい十勝の農村景観」と「伝えたい十勝農業の活気」をテーマとして、8月1日から10月31日まで作品を募集しましたところ、昨年実績以上の105名259点（見せたい十勝の農村景観部門65名168点、伝えたい十勝農業の活気部門40名91点）の応募をいただきました。十勝管内中心に道内、遠くは関東・関西などから多数のご応募をいただき、心よりお礼申し上げます。

残念なことに応募作品のうち撮影時期が規定外の7点が失格となりました。応募に際しては撮影時期など募集要領の記載事項に十分にご注意いただきたいと思えます。

さて、審査はテーマに適合し人を惹きつける魅力のある作品を基準に選考致しました。応募作品の撮影場所は、陸別町と広尾町を除く十勝管内17市町村を網羅し、帯広市>芽室町>音更町>幕別町>本別町>清水町の順に多い結果となりました。撮影月では、1年間通じてすべての月に亘りましたが、10月>8月>9月>7月>5月>6月の順に多く、昨年同様に冬とその前後の季節の作品は少ない傾向でした。

本年は2つのテーマで募集しましたが、その意図が応募者にうまく伝わらなかったのか、テーマごとに作品の棲み分けができていなかったように思えます。審査は別々に時間をおいて行われましたが、中には別部門であれば入選以上になったのにと惜しまれる作品も散見されました。

「見せたい十勝の農村景観」部門では、十勝の雄大な大地とどこまでも広がる大空をモチーフとした作品が多く、どこかで一回見たことがあるような絵葉書的な作品が多くなってしまいました。その中でも一瞬のシャッターチャンスをつかんだ作品が高い評価を得ました。

グランプリ作品の「赤いビートハーベスター」は紅葉に向かって進むハーベスターを、畑と紅葉の絶妙なバランスの中で捉え、最適なぼかし方で作品に広がりを与えています。準グランプリ「初雪」は雪のかぶった秋まき小麦畑を曲線状の縞模様を意識して切り取った印象的な作品です。

「伝えたい十勝農業の活気」部門では、テーマを消化しきれていない作品が多くなってしまいました。「活気」とは何なのかをカメラマンがテーマを絞った上で撮影する必要があると思いました。選ばれた作品は絵葉書的な写真から一步前に出た視点で描いた写真が選ばれています。

グランプリ作品「よいイモがとれたよ」は十勝独特の収穫風景の中、人物を生き生きと捉えていた点が活気を表現できていると評価されました。準グランプリ「開拓を支えた農耕馬」は十勝の人にとってはよく見かける写真ではありますが、真正面から捉えた馬追いの映像は十勝の文化を広く全国に伝える力を感じました。この部門は、次回からはただ農作業を撮るのではなく、喜びや悲しみ、驚き、祈りなどがかいま見える作品を応募してほしいと思いま

す。その意味で優秀賞の「倒伏照らしながら」はカメラマンの視点が感じられ、来年以降の一つの指標になる作品だと思えます。

来年度も今年と同じように「見せたい十勝の農村景観」「伝えたい十勝農業の活気」の2部門での募集になると思います。是非とも今年以上に被写体に対して一步踏み込んだ写真、カメラマンとして何を伝えるのかがはっきりした作品の応募を期待します。

最後になりましたが、応募された皆様への感謝と、入賞された皆さんへのお祝いを申し上げます。また来年も全国から多数ご応募いただきますようお願い申し上げます。

第3回とから農業・農村フォトコンテスト審査委員会

- | | |
|--------|------------------------------|
| 審査委員長 | 横尾俊輔（NHK帯広放送局長） |
| 審査副委員長 | 諸橋弘平（北海道新聞帯広支社） |
| | 折原徹也（十勝毎日新聞社） |
| 審査委員 | 樂山勝則（帯広市） |
| | 伊藤俊昭（十勝町村会） |
| | 浅野正昭（十勝地区農業協同組合長会） |
| | 松山 豊（十勝観光連盟） |
| | 秋元和夫（帯広信用金庫） |
| | 松田清明（十勝農業機械協議会） |
| | 大條慎司（北海道信用農業協同組合連合会帯広支所） |
| | 猪股 透（ホクレン農業協同組合連合会帯広支所） |
| | 園木勇司（北海道厚生農業協同組合連合会帯広厚生病院） |
| | 山脇 剛（全国共済農業協同組合連合会北海道本部帯広支所） |
| | 佐藤丈治（株式会社農協観光帯広支店） |
| | 西本秀一（十勝農業協同組合連合会） |

「見せたい十勝の農村景観」部門



グランプリ「赤いビートハーベスター」森田雄次



準グランプリ「初雪」中村政治



優秀賞「朝虹」栗野秀明



優秀賞「草取り」佐々木一郎



優秀賞「大空大地・ナガイモ畑」休場滋満



入選「波打つ空の下で豊穡の秋を願う」
仲野裕司



入選「夏の日」松田外吉



入選「十勝 農村の大地」高堂匠美



入選「波打つ畑、それは長芋畑」柳沼好彦



入選「晩秋十勝平野」佐藤大輔

「伝えたい十勝農業の活気」部門



グランプリ 「よいイモがとれたよ」 佐々木一郎



準グランプリ 「開拓を支えた農耕馬」 吉仲 功



優秀賞「倒伏照らしながら」松田竜弥



優秀賞「世界の農業へアンパンチ」山下健司



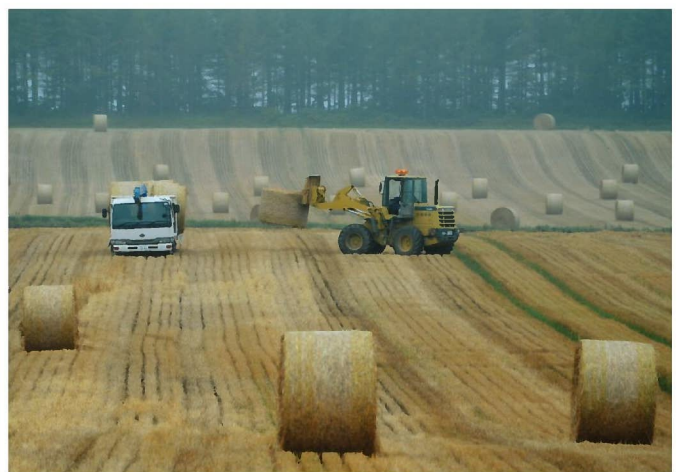
入選「雪も止んで 夜も明けて」栗野秀明



入選「収穫」鈴木泰孝



入選「朝焼けのころ」前田 裕



入選「頑張って運びます」本田和則



入選「期待」宮部勝美